

発刊に当たって

平成30年に実施された全国学力・学習状況調査では、我が国の子どもたちには、理科の観察・実験の結果を整理し、分析して考察したり、実験結果を基により妥当な考えに改善し、その内容を記述したりすることに課題が見られました。

また、新しい学習指導要領においては、自然の事物・現象に働きかけ、そこから問題を見だし、主体的に問題を解決する活動や、新たな問題を発見する活動の充実が図られています。

こうした状況を踏まえ、北海道立教育研究所附属理科教育センターでは、思考力など育成すべき資質・能力を明確にした探究的な学習プログラムや、プログラミング教育を取り入れた理科の授業の開発に取り組んだり、問題解決の過程を意識した授業づくりについての研修講座を実施したりするなど、「現場第一主義で、未来教育の創造を」を経営理念として掲げ、種々の業務を通して、北海道の教育関係者や学校が持つ可能性を最大限に発揮できるよう努めているところです。

本研究紀要は、平成30年度に当センターの職員及び研究連携校の担当者が取り組んだ調査研究や教材開発等の成果をまとめたものです。

各学校においては、本研究紀要をご高覧いただき、本道の理科教育の振興に広く役立てられるよう期待します。

平成31年 3 月

北海道立教育研究所長

北 村 善 春